

令和7年4月 斐伊川水系水質情報

令和7年4月(宍道湖21日・中海22日採水)							単位:mg/l(Chl-a: µg/l)			
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.1	△	やや低い	5.4	★	非常に高い	6.1	×	やや高い
全窒素	上層	0.29	○	良好	0.31	○	良好(平年並み)	0.32	○	良好
全リン	上層	0.036	△	平年並み	0.047	△	平年並み	0.034	△	平年並み
Chl-a	上層	16	△	平年並み	24	×	やや高い	27	△	平年並み
塩化物イオン	上層	2,130	△	平年並み	8,800	△	平年並み	11,700	×	やや高い
	下層	2,140	△	平年並み	18,500	×	やや高い	12,000	△	平年並み
溶存酸素	上層	10.6		平年並み	10.0		平年並み	9.9		平年並み
	下層	10.0		平年並み	6.9		平年並み	9.6		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	3.3	やや上昇	3.0	上昇	3.6	上昇
全窒素	上層	0.50	下降	0.43	下降	0.49	下降
全リン	上層	0.026	横ばい	0.026	上昇	0.028	横ばい

宍道湖の透明度は2.0mから1.2mと下降し、平年並み。中海の透明度は2.0mから1.8mと横ばいで、やや悪い。米子湾の透明度は1.9mから1.4mと下降し、やや悪い状況になっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%